



被爆80周年
"Piece of Peace"
平和のかげら

Hiroshima Symphony Orchestra An Evening of Peace Concert 2025

広島交響楽団

2025「平和の夕べ」 コンサート

被爆80周年

"Music for Peace"

マリア・ジョアン・ピリスを迎えて

指揮
クリスティアン・アルミンク

Conductor: Christian Arming
©Shumpei Ohsugi

ソプラノ
石橋 栄実*

Soprano: Emi Ishibashi

癒し、歓び、祈りの「第4番」

2024年「第35回高松宮殿下記念世界文化賞」を受賞した

マリア・ジョアン・ピリス(ピレシュ)と広響の夢の初共演が実現!

世界が衝撃を受けた2019年の引退からコロナ禍を経て、

2022年の復帰以来日本でのコンチェルト演奏は今回が初。

ベートーヴェンとマーラーの「第4番」で、
平和のメッセージを届ける。

ピアノ
マリア・ジョアン・ピリス

Piano: Maria João Pires

©Felix Brode and Deutsche Grammophon

ベートーヴェン ピアノ協奏曲第4番 ト長調 作品58

Beethoven: Piano Concerto No.4 in G major Op.58

マーラー 交響曲第4番 ト長調*

Mahler: Symphony No.4 in G major

コンサートマスター: 北田 千尋 Concertmaster: Chihito Kitada



2025.8.5 火 18:45開演
(17:45開場)

広島文化学園HBGホール 広島市中区加古町3-3

Tuesday August 5, 2025 Start 18:45 [Open 17:45]
Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

■チケット料金/ S:¥11,000 A:¥9,000

※小・中・高校生はS・Aとも半額(広響事務局のみで取り扱い)

■チケット発売日/2025年6月5日(木)

■プレイガイド/ 広響事務局、広響webチケット
JMSアステールプラザ情報交流ラウンジ
チケットぴあ(Pコード289-299)
ローソンチケット(Lコード62931)

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。

※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。 ※開演時間に遅れた場合、入場に制限がございます。



被爆80周年



花と緑と音楽の
おもてなし



第3回
U31国際平和文化祭
HIROSHIMA FESTIVAL 2026

■主催/ 広島市、公益財団法人広島市文化財団
公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社

■助成/ 文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
|独立行政法人日本芸術文化振興会



公益財団法人 ロームミュージックファンデーション

■お問い合わせ/ 広響事務局 082-532-3080

■公式ホームページ/ <http://hirokkyo.or.jp/>

広島交響楽団

2025「平和の夕べ」

コンサート

指揮：クリスティアン・アルミンク

Conductor : Christian Arming

ウィーン生まれ。レオポルト・ハーガーや小澤征爾のもとで研鑽を積み、ボストン響や新日本フィルにデビュー。ヤナーチェク・フィルの首席指揮者、ルツェルン歌劇場およびルツェルン響の音楽監督などを経て、2003～13年に新日本フィル、2011～19年にベルギー王立リエージュ・フィルの音楽監督として活躍。2017年から広島交響楽団の首席客演指揮者を務め、2024年に同団の音楽監督に就任した。

これまでにチェコ・フィル、ドレスデン・シュターツカペレ、フランクフルト放送響、ウィーン響、ザルツブルク・モーツァルテウム管、トゥールーズ・キャピトル国立管、スイス・ロマン管、ボストン響、シンシナティ響、N響などに招かれ、オペラではフランクフルトやストラスブールの歌劇場、新日本フィルなどで《ドン・ジョヴァンニ》《サロメ》《ホフマン物語》《フィレンツェの悲劇》などを指揮している。2019年に小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトで小澤征爾と共に《カルメン》全4公演、2024年に東京二期会オペラ《コジ・ファン・トゥッテ》全6公演を指揮した。

レコーディングも数多く、ヤナーチェク・フィルとのヤナーチェク、シューベルト作品、新日本フィルとのブラームス／交響曲第1番、マーラー／交響曲第3番および第5番、リエージュ・フィルとのフランク／交響曲二短調などで高い評価を得ている。2025年4月には、広響音楽監督就任披露公演で取り上げたR.シュトラウス／アルプス交響曲のライブ録音をリリースした。



ピアノ：マリア・ジョアン・ピリス

Piano : Maria João Pires

1944年リスボン生まれ、3歳でピアノを始め、4歳でステージに立つ。リスボン音楽院で学んだ後17歳でドイツに留学し、ローズル・シュミットやカール・エンゲルの各氏に師事。

その後'86年にロンドンのクイーン・エリザベス・ホール、'89年にはニューヨーク、カーネギーホールにデビューし国際的なキャリアが始まる。コンサート活動に加え、エラートで15年、ドイツ・グラモフォンでは25年、数多くのレコーディングを行った。

'70年以降は芸術や音楽が人間社会に与える影響を研究し、教育的プログラムとして実践していくことに心血を注ぎ'99年にはポルトガルにベルガイシュ芸術研究センターを設立した。ここでは主に農村部の恵まれない環境にある子供たちのための合唱団の創設し、支援する社会プログラムである「バルティトゥーラ合唱団」や「バルティトゥーラ・ワークショップ」というプロジェクトを立ち上げた。どちらも地球と私たちすべてが互いに尊敬しあい、すべての文化、環境、自然、生命を敬う気持ちを生み出すことを目的にしている。

2018年演奏活動からの引退を宣言したが、その後撤回し'22年には再び来日リサイタルを行った。

2024年度高松宮殿下記念世界文化賞を受賞した。



ソプラノ：石橋栄実

Soprano : Emi Ishibashi

大阪音楽大学専攻科修了。大阪舞台芸術奨励賞、音楽クリティック・クラブ奨励賞、咲くやこの花賞、坂井時忠音楽賞、他受賞。ドイツ・ケムニッツ市立劇場「ヘンゼルとグレーテル」にグレーテル役として招かれて以来、新国立劇場「沈黙」「ラ・ボエム」「フィデリオ」「ドン・ジョヴァンニ」、兵庫県立芸術文化センター「夕鶴」、びわ湖ホール「カルメン」「ばらの騎士」他数多くのオペラに出演し続けている。また、バッハ「マタイ受難曲」、メンデルスゾーン「エリア」、モーツァルト「戴冠ミサ」「ミサ曲ハ短調」「レクイエム」、ブラームス「ドイツ・レクイエム」、マーラー「交響曲第4番」、ヴェルディ「レクイエム」、ドヴォルザーク「スカーバト・マーテル」、オルフ「カルミナ・ブラーナ」などのソリストとして全国のオーケストラと多数共演。広島交響楽団とはベートーヴェン「エグmont」、演奏会形式歌劇「青ひげ公の城」で共演をしている。「NHKニューイヤーオペラコンサート」、NHK-BS「クラシック倶楽部」、NHK-FM「ベスト・オブ・クラシック」などのメディア出演の他、久石譲シルベスターコンサート出演など幅広く活動。大阪音楽大学教授。



2025

同プログラムで開催いたします

「平和の夕べ」コンサート

ザ・シンフォニーホール 大阪公演

日時／2025年8月7日(木) 19:00開演(18:00開場)
会場／ザ・シンフォニーホール

東京オペラシティ公演

日時／2025年8月8日(金) 19:00開演(18:00開場)
会場／東京オペラシティ コンサートホール

チケット
好評
販売中

ご予約・お問い合わせは広響事務局
TEL:082-532-3080まで